

# 行政評価シート

事務事業名	待機児童解消対策事業			事業開始年度	平成17年度
担当部	保健福祉部	担当課	子育て支援課	担当係	保育所幼稚園係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	1. 若者の未来を創るまち
政策 (方策)	(1)子どもを産み育てやすいまちをつくります
施策 (手法)	③働きながら子育てできる環境の整備
取組事項	I. 子育て施設の整備

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	民間で整備する施設に対する補助及び民間の保育所等の設置者が保育士の宿舎を借り上げるための費用に対する補助により、施設整備と保育士確保を行い待機児童解消につなげることを目的とする。
-----------------	---

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	R元～R2 【新設】認可保育所1(定員49人)、【新規】小規模保育事業所1(定員19人) R3～R4(予定) 【新設】認可保育所(定員42人)、【移転・定員増】認定こども園(定員30人増) 保育士宿舎借り上げ支援事業
------	--

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	待機児童数			指標の単位	人
指標の説明	各年4月1日現在の待機児童数				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	39	0	0	0	0
実績(見込)値	48	51	29	49	24
達成度(%)	81	0	0	0	0
指標名②	指標の単位				
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	相当程度進展あり				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった				
【説明】	施設整備等による定員拡大により、待機児童の減少に寄与している。				所管課評価
					B

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	現状のまま継続
【説明】	今後の保育需要の推移等を分析しながら、必要に応じて民間施設の施設整備に対して補助を行っていく。

# 行政評価シート

事務事業名	公立幼稚園の統廃合			事業開始年度	平成28年度
担当部	保健福祉部	担当課	子育て支援課	担当係	保育所幼稚園係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	1. 若者の未来を創るまち
政策 (方策)	(1)子どもを産み育てやすいまちをつくります
施策 (手法)	③働きながら子育てできる環境の整備
取組事項	I. 子育て施設の整備

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	子どもの健やかな成長のためには、ある程度の集団での保育が必要であり、将来的に園児数の増加が見込めない地域については他施設との統合を進める。
-----------------	---

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	園児数が減少する中で、集団で幼稚園教育を受けることができる環境(適正規模)を確保するため、令和元年度に市立幼稚園適正規模等検討会を組織して適正規模の検討を行い、令和3年度園児募集から休園基準を設けることとした。
------	---

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①				指標の単位	人
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					

指標名②				指標の単位	
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					

【目標に対する進捗状況】	進展が大きくない
【費用対効果】	費用なし

【説明】 市立幼稚園の適正規模を維持することを目的に令和3年度園児募集から休園基準を設け、園全体で5人未満の幼稚園は当該年度休園することとした。 なお、休園となる園を希望した児童は、他の学区の園に通うこととなるが、集団での幼稚園教育を受けることが出来ることとなる。	所管課評価  B
--	----------------

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	見直して継続
----------	--------

【説明】

休園が複数年度続いた場合、施設そのものの劣化も進んでしまうため、今後廃園も含めた対応を教育委員会と検討していく必要がある。

# 行政評価シート

事務事業名	一時預かり事業(幼稚園型)		事業開始年度	平成17年度	
担当部	保健福祉部	担当課	子育て支援課	担当係	保育所幼稚園係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	1. 若者の未来を創るまち
政策 (方策)	(1)子どもを産み育てやすいまちをつくります
施策 (手法)	③働きながら子育てできる環境の整備
取組事項	Ⅱ. 多様な保育サービスの提供

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	幼稚園の教育標準時間後の時間帯における保育を実施することにより、保護者の子育てを支援する。
-----------------	---

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	○公立幼稚園 預かり保育担当臨時職員雇用6Hパート 各施設2名の計画 安達地域(油井) ⇒ 渋川、川崎分も合わせて油井で実施している。 二本松地域(杉田)⇒ 実施予定だが、職員の確保が困難な状況が続いている。 ○私立認定こども園への対象経費補助(地域子育て支援事業交付金対象)
------	---

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	受入人数			指標の単位	人
指標の説明	公立幼稚園+私立認定こども園における延人数				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	5,922	5,618	5,618	5,618	5,618
実績(見込)値	5,922	5,618	5,781	4,570	5,618
達成度(%)	100	100	103	81	100
指標名②	指標の単位				
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	進展が大きくない				
【費用対効果】	費用なし				
【説明】	幼稚園の教育標準時間終了後の時間帯における保育を実施することにより、保護者の子育てを支援する重要な役割がある。 杉田幼稚園でも預かり保育も実施予定であるが、担当保育士(会計年度任用職員)の確保が困難なため開設出来ていない状況にある。				所管課評価  B
【事業の方向性】	現状のまま継続				
【説明】	幼稚園に子供を預ける保護者が、安心して子育てが出来る保育環境の整備に資する効果が認められるため、継続して事業を実施する。 杉田幼稚園の預かり保育は、実施に向けた人材確保等に努めていく。				

# 行政評価シート

事務事業名	学童保育の充実(学童保育事業)			事業開始年度	
担当部	保健福祉部	担当課	子育て支援課	担当係	子ども家庭係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	1. 若者の未来を創るまち
政策 (方策)	(1)子どもを産み育てやすいまちをつくります
施策 (手法)	③働きながら子育てできる環境の整備
取組事項	Ⅱ. 多様な保育サービスの提供

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	昼間保護者のいない家庭の小学校児童を対象に学童保育を実施し、入所希望者全員を受け入れる。
-----------------	--

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	市内17ヵ所で学童保育を実施する。 市直営8箇所、指定管理7箇所、民営2箇所 ※平成30年度油井第3学童新設、令和元年度二本松北学童新設
------	--

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	学童保育所入所受入率			指標の単位	人
指標の説明	入所決定者数／入所要件を満たす申請者数				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	536	637	668	720	810
実績(見込)値	536	637	668	720	810
達成度(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
指標名②				指標の単位	
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	目標達成				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった				
【説明】	学童保育所の新設、既存学童の定員拡大を図ることで利用希望児童の全員を受け入れることができた。				所管課評価
					A

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	拡大
【説明】	既存施設の定員を拡大するほか、平成30年度に油井第3学童保育所(定員30人)、令和元年度に二本松北学童保育所(定員30人)を新設し利用希望者の受入を行っているが、核家族化と共働き世帯の増加に伴い利用希望者が急増しているため、定員の拡大を図る必要がある。

# 行政評価シート

事務事業名	病後児保育事業			事業開始年度	
担当部	保健福祉部	担当課	子育て支援課	担当係	保育所幼稚園係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	1. 若者の未来を創るまち
政策 (方策)	(1)子どもを産み育てやすいまちをつくります
施策 (手法)	③働きながら子育てできる環境の整備
取組事項	Ⅱ. 多様な保育サービスの提供

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	市内において病後児(病気やけが等が急性期を経過する等安定した以後の回復期にある児童)を一時的に預かり保育する環境を整備することで、子育て支援の環境整備を推進する。
-----------------	---

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	民間事業者が病後児保育事業を取り組む場合に国補助要綱に基づき運営費補助を行う。
------	---

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	指標の単位				
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					
指標名②	指標の単位				
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	評価結果なし				
【費用対効果】	費用なし				
【説明】	学校法人まゆみ学園が令和元年12月に開設した企業主導型保育事業所「チャイルドケアハウスこどもの家」で病後児保育を実施しているが、企業主導型保育事業所のため、その運営費は国・県・市ではなく、児童育成協会から受けている。				所管課評価
					—

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	
【説明】	今後、民間事業者が病後児保育事業を取り組む場合に、国補助要綱に基づき運営費補助を行う。